

通信教育講座バウビオロジー

2

環境と住居の立地

アントン・シュナイダー

日本語版監修 豊原 寛明



Institut für Baubiologie + Oekologie, 83115 Neubeuern
www.baubiologie.de

BIJ

日本バウビオロジー研究会
Baubiologie Institute of Japan
WWW.baubiologie.jp

1	自然バランスの破棄	3
2	環境破壊の原因と影響	13
2.1	環境病	16
2.2	住まいとその建設における、エネルギーに条件づけられた環境コスト	19
2.3	工業化の結果	20
3	自然—文明—人間	22
4	生活と住まいの肯定的・否定的要因	25
5	文化の刻印を受けた秩序への出口	27
	自己確認問題	30
	参考文献	31

上位であるのはまた人間の健康と人間の尊厳に配慮した社会秩序である。この視点は絶対的なプライオリティをもっている。人間が至るところ、理想的な形でその自然環境に組み込まれていないとすれば、社会は秩序に対して配慮をしなければならない。

運送と貯蔵と梱包に膨大な出費がかかる、人間によって生み出された、専門分化された、自然と疎遠な既存の人工的な耕作に対して、根源的な自然秩序のエコロジカルな優位性は学問的に実証されている（図5）。緑あふれるジードルンクの、大地、水、空気、生物に関する**エコロジカルな価値**は、単一耕作より数倍高い、と。そしてたいていの森林面をも凌駕する。

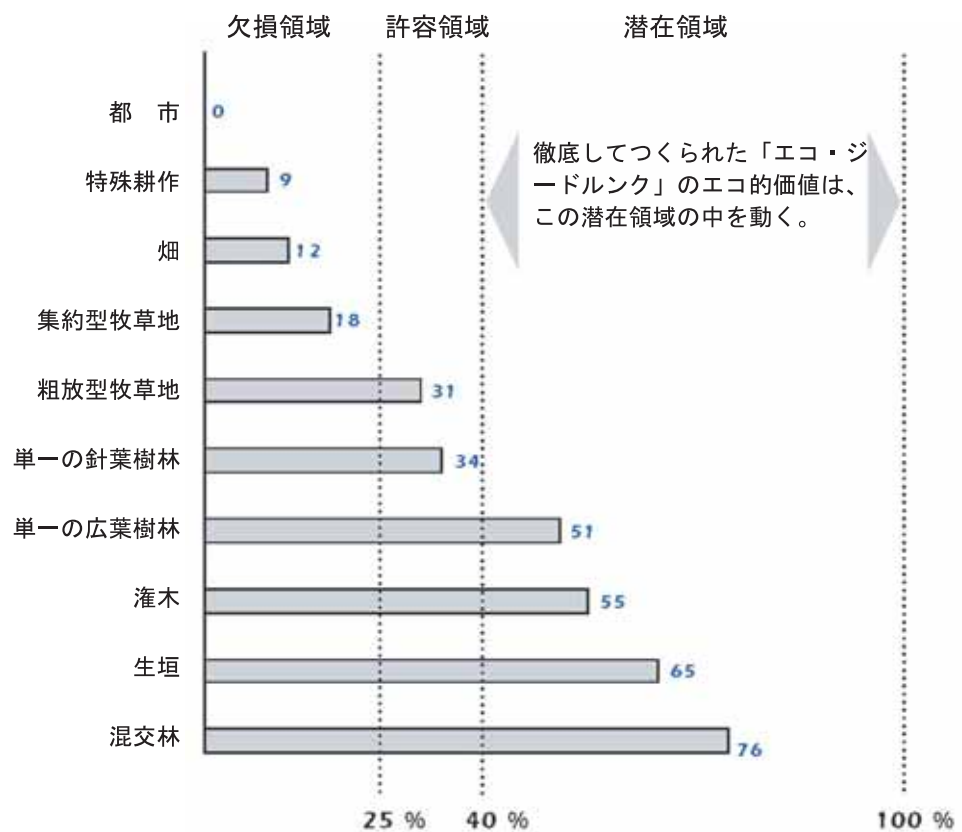


図5. 大地のピオトープの価値
G. H. Becherの博士論文（1976年ミュンヘン工科大学）

建築の文化

- ・ 人間的な居住環境
- ・ 自然と結ばれていること、地域固有の建築方法、緩やかで自然のままの緑溢れるジードルンク
- ・ 環境にやさしい建築
- ・ ふるさと、守られていることの雰囲気
- ・ 生物学的建築材料とその建築方法（問題発生なく、人間に依拠した、自然成長資源、地域供給、製造に負荷をかけない）
- ・ 文化、芸術、美、美学（善—美—真）
- ・ 質を求める
- ・ 人間の尊厳、個性、創造性、趣味、独創性
- ・ 調和、秩序、風景との関係
- ・ 全体性、一なるもの
- ・ 健康、快適

建築の混沌

- ・ 非人間的、匿名性のベルトコンベヤ建築
- ・ 自然と疎遠、人工的環境、工業、交通の中心にある大量生産ジードルンク
- ・ 生命と敵対する、非人間的な、エネルギー消費的な破壊
- ・ 荒涼とした、圧迫的な単一性、コンクリート砂漠、ふるさとの喪失
- ・ 合成系の建材、自然と疎遠な建築方法（自然循環と異質な躯体、高いエネルギー、運搬コスト）
- ・ 憎しみ、愛情のなさ、カオス、ファサード、流行的
- ・ 量、魂のこもっていないボリューム、冷たい合理性、技術的オンリーの幾何学、凡庸な生活基準、威信のための建築
- ・ 面目を失わせる大衆化、依存主義、基準、風采、規制、均等、平凡
- ・ 不調和、幅の狭い、恣意、目に見える環境汚染
- ・ 退屈、専門化、退廃
- ・ 病気、不満

表 2. 居住領域における建築の文化と建築の混沌